

平成 26 年 6 月 10 日

6 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は、雪害を受けた県西部地域を除いて順調。雪害で入荷減少の地域もあるが、地域外からの積極的に集荷により、全体の入荷量は平年並み。スギは製材工場が柱材・母屋材の確保に積極的で、引合いは好調だが、中目材に陰りが出てきた。ヒノキは全般に引合い弱く、特に 3m 柱材、4m 土台取りの荷動きが低調。スギ価格は大方の予想に反して堅調に推移し、柱材は強含み、中目材は弱保合。ヒノキ価格は、構造材製品の荷動き悪く、柱材は引続き弱保合、中目材は横這い。群馬の製材工場は、大型物件の残と新たな物件需要でフル操業継続中。原木の出材は順調だが、在庫は価格が下落傾向のため積み増しが容易な状況。製品の販売は全体的に悪いが、公共工事や新規物件の取れるところはそれなりに忙しい。製品在庫は一部工場で消費増税前に製品が無くなったことで、積み増ししているが、一般的には下落を見越し在庫は減らしている。スギ製品価格は一時期よりは下落したが安定。ヒノキは下落が激しく、相場が荒れている。

2. 米材

米国産米マツ丸太は、引続き日本からの引合い低調で、3 か月連続で \$ 20/千スクリブナー (約 \$ 4/m³) 値下がりした。出材は好調。カナダ丸太は、好調な米国住宅着工により米国向けの生産が伸び、輸出向け原木価格の調整に時間がかかっている。日本向け、中国向けの配船はスローダウンしているが、出材は落ちておらず、港頭在庫は増加。ウェアハウザー社の 6 月積み米マツ IS ソートは、前月比較 \$ 20 下げの推定 \$ 850。米材原木の入・出荷、在庫ともに横這い。国内の米材製材工場は、引続き大口需要家であるプレカット向け販売がスローダウンしており、大型港湾工場、内陸部中小工場ともに、生産調整を行っている。米製材品の TLT(東京木材埠頭) 5 月の入荷量は 33.5 千 m³ で前月比 6.5% 増、出荷量は 31.0 千 m³ で同 10.5% 減、在庫量は 57.9 千 m³ で同 4.4% 増。日本からの引合い弱く、価格も下げ傾向なので、日本向け生産を縮小。米国内は天候に恵まれ、住宅着工も予想より遅れ回復傾向。ただ中国向けが鈍化しており、製材品相場は一進一退の状況。産地価格は対日向け DF KD STD J グレードが弱含み。角 \$ 485/m³ 以下の指値も見られ、垂木は \$ 495~500/m³ (CIF) のレベルのオフ

アー。ランダムレングス紙発表の 15 種平均価格は、4 月末～5 月にかけて上昇傾向だが、荷動きは先月に引続き悪い。プレカットの稼働率は 5 月後半から改善している模様だが、在庫量は充分。中国木材の値下げも影響。5～7 月積みは現地との契約が少ない見込み。

3. 南洋材

サバは天候が良く原木出材は回復基調の中、日本、中国、インドからの引合い旺盛で売れ行き好調。原木価格、特に太材良木は上昇中。製品価格は原木の高騰から強含みが続く。サラワクも天候が安定し、原木出材は順調だが、日本が望む太材良木は慢性的不足で、価格は産地側も強気姿勢崩さず。細材、低級材は若干供給過多で、価格は横這いから弱含み。PNG ソロモンは雨多く、依然玉不足する中、中国勢の買いが旺盛で価格は高値で張りつく。南洋材丸太の入荷は増加、出荷・在庫は横這。製材品の入荷は横這。原木の販売は合板用、製材用とも変化なし。製材品の販売は、4 月以降依然全体的に荷動き悪い。集成材の上級品は荷動き悪く価格もやや弱含み。平割類、デッキ材は玉不足で価格は横這いからやや強含み。

4. 北洋材

ロシア極東地方はアムール配船の開始が目前。今冬の伐採は順調で、日本向け数量は昨年以上と予想。中国沿岸部の市況は過剰入荷で暴落、内陸部はロシア貨物を直接受入でき、荷動き良好で推移。価格はやや下がる。シベリア地方は、新規入荷はほぼストップし、わずかな港頭在庫の出荷を待つだけ。バイカル湖北で大規模山火事が発生し、6/5 現在延焼中で今後の影響が懸念。富山新港の 5 月丸太入荷量は 6.9 千 m^3 、原盤は 10.4 千 m^3 。在庫は 1.5 ケ月。価格動向は、丸太は横這い、製材品も国内挽きは横這い。荷動きは現地完成品、30×40 KD AB グレードが依然悪い。製材品は住宅資材受注減少に伴い停滞。京浜港アカマツ輸入製品在庫過多で先月同様荷余り感あり。国内製材工場は丸太、原盤とも不採算。稼働状況は採算合わず生産調整。

5. 合板

原料丸太のうち国産材は、全体的には横這いだが、ヒノキの供給難が続く。南洋材は相変わらず IPK 材の税率アップ問題で強気のまま推移。米材、ロシア材も現地や他国の需要旺盛で強含み状態が続く。4 月の国内合板生産量 25.2 万 m^3 のうち、針葉樹合板は 23.6 万 m^3 で出荷量は 21.8 万 m^3 と生産量が出荷量を大幅に上回ったが、在庫量は 11.5 万 m^3 と依然低位のまま推移。販売価格は、メーカーはあくまでも横這いを唱えているが、商社・問屋等の流通が予想以上の荷

動きの悪さから堪えきれず、安値での販売が徐々に広がりつつある。国産合板は、4月に入って鈍った荷動きが5月にはさらに輪をかけ動かない状況。メーカー出し値に変化はないが、木建ルートでは商社・問屋が売り焦り、実勢価格だけが軟化の状態。輸入合板の荷動きは、全体的におとなしい。中でもラワン構造用合板は針葉樹合板にリンクしており、荷動き悪く価格も完全に乱れている。先行き、針葉樹合板の在庫はいまだ低水準だが、現状の需給バランスから考えれば、メーカーがいくら横這いを唱えても実勢価格の乱れは避けられない状況。輸入合板は下げムードだが、ラワン構造用合板以外は今後の需要や入荷、現地の高値などから大きな乱れはない。

6. 構造用集成材

原料ラミナの現地生産、入港ともに順調。通常の出航遅れはここ数か月解消され予定通りの出航続く。国産集成材の受注・荷動き共に弱含み。在庫は生産減のため適量。製品価格は弱含み。輸入集成材の入港少なく、港頭在庫は過去10年で最低。売りは悪く第2四半期の価格は、第1四半期に比べ若干弱い。都心分譲系ビルダーの勢いは落ちていないが、地方ビルダーは落込みが深刻。ヒノキの製品価格が下がり、再度ヒノキ無垢土台に変更した大手ビルダーが出現。沖縄地区で木造住宅のニーズが高まっている。木材ポイント制度に一部外材が認められたが、顕著な動きは見られない。

7. 市売問屋

国産材構造材はスギ、ヒノキとも動きは悪い。その中でスギ柱角は価格が堅調で小動きあり。造作材は前月同様リフォーム需要は旺盛で、スギ、ヒノキとも活発な動き。建具材は一服感続く。外材構造材は、米ヒバ、米ツガも引合い悪い。造作材はスプルー、米ヒバ、米ツガ、ピーラーの動きはまずまず。販売は、消費増税による反動減が続く。買方も新築等の受注少なく、市日に来場するも必要当用買いに徹している。増税後の反動減が一向におさまる気配が感じられない。買方も仕事を取るため見積は増えるが、成約になるケースは少ない。先行不透明感は一層濃くなっている。

8. 小売

国産材の構造材はスギ弱保合、ヒノキ柱、土台とも弱保合。外材はロシアアカマツ垂木、米ツガKD角、平割、SPFいずれも保合。造作材はスプルー良材保合、ナラ・タモ保合。集成材はWW、RW梁、柱とも保合。合板は針葉樹・ラワンともに保合。床板、フロア材保合。プレカット工場は特に変化なく、加工は順調。工務店は、消費増税後の仕事量が予想より落込み少なく、7月以降の新築

物件も受注しているので、このままのペースで行けばよいが、見積り合せ等競争が激しく利益率は悪い。

6月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↘	→	→
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↗	↗	↘	↗

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	↗
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	↘
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	↘
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オンタ)	米マツ カスケード (カナダ産)	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米マツ ISタイプ コースト	→
			米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13'	→
(国内挽き)		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13'	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
		東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ (3.0×4.0×3.8m) 特等	↘
			アカマツ (3.0×4.0×4m) 特等	↘
			カラマツ (10.5×10.5×4m) 特等	※
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↘
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↘
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	↘
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↘
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→